



Kita Alps

地域おこし

協力隊通信

Vol.1

北アルプス地域振興局
企画振興課

はじめに

北アルプス地域（大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村）では、2018年4月1日現在37名の地域おこし協力隊員が活動しています。

特産品開発や移住・定住促進に取り組む隊員、住民の生活支援や農作業支援に取り組む隊員など、その活動内容は隊員によって様々です。

本通信では、そんな多種多様な活動を行う隊員の日ごろの活動や任期後の目標等についてインタビューをし、記事としてまとめました。

隊員の皆様は、他地域の隊員の活動を知ることによって、今後の活動の参考にさせていただければと思います。

また、サポーターの皆様は、本通信を通して、隊員活動への理解を深めていただければ幸いです。



長野県 PR キャラクター
「アルクマ」 ©長野県アルクマ



大町市地域おこし協力隊
たかまつ ひさかず
高松 永和さん

Profile

任 期：平成 28 年 5 月～
出 身 地：長野県長野市
前居住地：東京都杉並区
前 職：デザイン制作会社勤務
趣 味：CD・古着・本等の収集



▲大町市役所のまちづくり交流課執務室内でチラシ作成に励む高松さん。この日は、北アルプス地域の若者交流イベントのチラシを作成していました。

隊員になる前

東京のデザイン制作会社でグラフィックデザイナーとして 11 年間働いていました。ほぼ毎日終電帰りのような生活を送っていたので、体力的にもきつかったですね。

隊員になったきっかけ

妻の第一子妊娠を機に子育てについて考えるようになり、できれば自然環境が良いところという思いから、実家のある長野県内で検討を始めました。JOIN主催の安曇野大町、白馬を巡る一泊二日の移住ツアーに参加したんですが、その際に対応してくださった方から大町市隊員の求人を紹介していただき、今に至ります。

この地域に住んでみて

自然環境の良さは本当に素晴らしいと思います。収入に関しては東京時代と比べてだいぶ少なくなりましたが、大自然に囲まれた開放感あふれる環境で暮らせることと引き換えと思えば仕方ないことかと思えます。また、仕事での拘束時間が減ったので、時間にとりある生活ができています。そのおかげもあり、移住後に子供が生まれて生活リズムはガラッと変わりましたが、夫婦 2 人で子育てをしているという実感もあるので奥さんの満足度も高いです。

現在の業務

着任当初は、2017 年に開催した北アルプス国際芸術祭の広報関係業務を担当していました。ロゴマークやパーソナルカラーは総合ディレクターである北川フラムさんに設定してもらい、そのモチーフを使ってパスポートや缶バッジ、ポストカード等のグッズ、広報チラシ、ポスターをデザインしました。特にパスポートは、モチーフ

の雰囲気も踏まえて、かわいらしいものを作ることを意識しました。



▲北アルプス国際芸術祭パスポート
内面のデザインも高松さん。
おしゃれなパスポートで芸術鑑賞がさらに楽しくなりました。

全体を通して、企業のデザイン部門を担当する「インハウスデザイナー」みたいな仕事をしていましたね。

芸術祭終了後は、2020年に2回目の開催が決まったので、それに向けて準備をしています。ホームページやfacebookの管理をしながら、次回開催に向けたイベントを行っています。

現在は、9月に信濃大町駅前で行うイベント「芸術祭プレイバック2017」のパネルやチラシを作成中です。またこの他にも、市が開催する観光や定住に関するイベントのチラシづくりをしています。デザインについては、まだまだ勉強が必要だと思っているので、最新のトレンドなど、日々情報収集に励んでいます。



▲高松さんが作成したチラシ
作成したチラシの一部を見せていただきました。この地域に住んでいる方なら、一度は目にしたことがあるのでは!?

活動において苦労したこと

芸術祭は初開催のため、市役所や地域の方も手探り状態で、何を優先的に進めるべきかわからない状態でした。その中で、チラシやHP等を短期間で準備しなければならず、ずっと机に向かっていたので、地域の人とコミュニケーションが取れなかったことです。

活動においてやりがいを感じる点

東京にいた頃は、直接お客さんの反応が見えることは少なかったんですが、芸術祭の際は、自分が制作したものに對してお客さんの反応がすぐ伝わってきたことが嬉しかったです。また、全国的に有名なイベントのグッズ等を自分で制作したということも非常に価値があったと思っています。

副業について

鷹狩山にある「エコーハウスたかがり」というレストランでアルバイトをしています。ここは、市が指定管理に出している施設で、「行政」と「民間」と「隊員」の3者で協力しながら、東山エリアの観光誘客事業に取り組んでいます。最近、鷹狩山が恋人の聖地になっていることに関連づけて、「愛鍵」グッズの売り出しに取り組むところです。

任期終了後にについて

個人事業主としてデザイン業務で起業できればと思っています。そのためには、様々な知識が必要なので、商工会議所主催の開業講座等に通って、起業に向けた勉強をしています。また、起業だけではなく、いろいろな選択肢を含めて検討中です。正直、任期後の不安は大きいですがね・・・。

高松さんから、隊員の皆さん・サポーターの皆さんに♪♪メッセージ♪♪

チラシ・ポスター・広告・宣伝の段取りなど出来ますので、任期後に開業した際にはオファーをお願いします!

★サポーター（特に金融機関）の皆様へ★

大きな買い物（車・住宅など）をする際に、隊員でもローンの相談をしやすい雰囲気があると嬉しいです。（隊員だったらこのくらいローンが組めるとか・・・教えてほしいです。）



▲愛鍵 価格：1,000円（税別）
エコーハウスたかがりにて販売中。



池田町地域おこし協力隊

すずき しゅんすけ

鈴木 俊輔さん

Profile

任 期：平成 27 年 7 月～
出 身 地：神奈川県横須賀市
前居住地：神奈川県藤沢市
前 職：出版社勤務
趣 味：料理・コーヒー焙煎



▲池田町の隊員全員で手掛ける「安曇野手しごとマルシェ」。次回は 11 月 4 日（日）に開催予定。詳細はこちら【<http://marche-azumino.com/>】

隊員になる前

東京の出版社に 7 年間勤務していました。鉄道旅行のウェブサイトを記事を作成・編集していたほか、会計事務や鉄道乗換案内サイトに提供する列車の時刻表データの作成等を行っていました。

隊員になったきっかけ

ここに来る前は、通勤に長時間かかるなど、妻と共働きしながら生活するには負担が大きかったため、ゆとりある暮らしができる場所に住みたいと考え始めたことがきっかけです。また、妻がオーストリア出身ということもあり、自然に近く、涼しい地域に住みたいということでも、条件に合う長野県内で移住地探しを始めました。たまたま旅先で、池田町がオーストリアのザルツブルクに似ているという話を聞いて池田町に興味を持ち、実際に来てみたらとても気に入って、ちょうどいいタイミングで池田町が隊員を募集していたので応募しました。

この地域に住んでみて

知らない土地ということでも不安もありましたが、実際住んでみると近所の方々がすごく親切で、不安はすぐになくなりました。今は、任期後も池田町に住めたらいいなと思っています。

現在の業務

特産品開発が主な業務です。最近では、桜仙峡あずき保存会と一緒に「桜仙峡あずき&桑抹茶のくず餅バー」を企画し、開発しました。この商品は、町の特産品である「桜仙峡あずき」と「桑パウダー」を使った池田町の新たな夏の銘菓

で、和菓子の有名老舗店である安曇野市の（有）丸山菓子舗さんに協力していただき開発しました。



▲桜仙峡あずき&桑抹茶のくず餅バー

冷たくてももちもちの新感覚のアイスバー。溶けても美味しくいただけます。9月中旬まで池田町ハーブセンター、シェアベースにぎわいで販売中。1個 170円。

また、特産の桑と数種類のハーブを混ぜたブレンド茶「桑とハーブのブレンドティー」や「桜仙峡あずき茶」も開発しています。この他にも、イベント限定で桜仙峡あずきの大福や桜餅、どら焼き、ジェラートを作りました。



▲桑とハーブのブレンドティー
桑の葉にカモミール、青ジソ、ラベンダーなどを混ぜた 3 種類のブレンド茶。池田町ハーブセンターで販売中。各 15 グラム入り 1 個 650 円。桑の葉がハーブとブレンドされて、とても飲みやすくなっています。

特産品開発の他には、お金をかけずに一から自分たちの手でつくるハーブ園「まかないシェアハーブガーデン」を仲間と協力しながら開発しています。手製の品物を作者が自ら売る「安曇野手しごとマルシェ」を昨年企画し、隊員全員で協力しながら開催しています。手しごとマルシェは、今年 4 回の開催で、既に 3 0 店が出店しています。また、地域の加工品の商品ラベルも制作しています。

活動において苦労したこと

地域の方から様々な依頼をいただきますが、実施主体が見えにくく、隊員任せな場合があるので、協力する際の線引きが難しいです。お話をいただいた際には、実施主体をはっきりさせるようにしています。人脈づくりについては、苦労している隊員も多いかもしれませんが、私の場合は隊員 OG が中継ぎをしてくださったため、苦労はしませんでした。

活動においてやりがいを感じる点

自分が開発した商品が形になって、その商品について周りから反応があると嬉しいです。また近所の方から、「頑張ってるね」と声を掛けていただけることも嬉しく、もっと頑張ろうという気持ちになります。

副業について

今年から大糸タイムスの契約記者をやらせていただいています。土曜日や日曜日、平日の業務時間外に記事を書いていきます。

任期終了後について

任期終了後は、契約記者を続けながら、商品ラベルの制作をはじめ、いくつか小さいビジネスを組み合わせて生活していけたらと思っています。また、趣味のコーヒー焙煎や野菜ソムリエの資格等も活かして仕事につなげていきたいです。すぐにはできるかはわかりませんが、後々カフェもやってみたいです。

一方で、任期後の悩みは住居の問題です。一軒家に住みたたくても、探すのが難しく、空き家があっても、借りたり購入したりできる物件がないことが一番困ります。

鈴木さんから、隊員の皆さん・サポーターの皆さんに♪♪メッセージ♪♪

同じ境遇の隊員同士で協力隊活動や普段の生活、任期後の仕事など、様々な場面で協力していけたらと思います。

★サポーターの皆様★

とても心強い存在です。任期後の仕事のこと、住まいのことなどで相談に乗ってくださると、とてもありがたいです。



▲桜仙峡あずき茶

かわいいパッケージが目を引くあずき茶。あずきの風味がふんわりして、和菓子のお供によく合います。池田町ハーブセンターで販売中。1袋 500円



小谷村地域おこし協力隊 みずのさとこ 水野 聡子さん

Profile

任 期：平成 27 年 11 月～
出 身 地：岐阜県多治見市
前居住地：新潟県上越市
前 職：農業法人勤務(直売所店員)
趣 味：山登り



▲青唐辛子を出荷している農家さんと一緒に日々コミュニケーションが地域の方との信頼に繋がっています。

隊員になる前

新潟県上越市の農業法人に勤務していた、直売所で店員をしていました。お米の生産、自社内の加工場で製造したお餅や菓子を販売したりしていました。

隊員になったきっかけ

もともと隊員になろうと思っていたわけではないんですが、以前から北アルプスの近くに住みたいと思っていました。ちょうど隊員の募集があるというのを知人に聞いて、業務内容も特産品開発ということで前職とも関連していたため応募しました。

この地域に住んでみて

山へのアクセスがすごく近いので、すぐに山に行けるのがいいですね。それと、小谷村に昔から住んでいる方や移住者の方から山での暮らしの話を聞いたり、体験させてもらったりできるのが、とても面白く、来て良かったなと改めて感じます。任期後も小谷村に住みたいと思っています。

現在の業務

村で新設予定の加工貯蔵施設の整備事業に携わっており、特産品開発・販路の開拓を行っています。いろんな村の生産者グループと関わりを持ちながら、特産品振興を考えるのが主な仕事です。

これまで、県外の食品関連会社と協働して三つの商品を開発しています。一つ目は、晩酌のお供にお薦めな「山うどの和風ピクルス」。山うどのほろ苦さとぱりとした歯ごたえが特徴で、松川村の(有)野口屋漬物で製造しています。

二つ目は小谷村産の青唐辛子をふんだんに使った甘辛い酢の「辛いで酢」。スイートチリソースのように、揚げ物や生春巻

き、野菜にかけて楽しんでいただくことができます。これは松本市の丸正醸造が製造しています。三つ目は「こしょう漬」で、小谷村の郷土食を商品化したものです。中野市にある(株)ダイマツに製造をお願いしています。三つの商品とも今年から販売開始になっていて、道の駅を中心に順調な売行きとなっております。



▲「辛いで酢」
小谷村道の駅等で販売。やわらかい風味の中にピリッとした辛さがやみつきになります。1瓶 540円。

▼「山うどの和風ピクルス」と「こしょう漬け」

どちらもお茶やお酒によく合う絶品。適度な酸味と素材本来の風味が口の中に広がります。普段のおかずの1品にぴったり。
山うどの和風ピクルス：540円
こしょう漬け：540円



商品開発の際は、メーカーと開発した商品についてやりとりをしたり、完成した商品の販売の仕方等を考えたりしています。商品開発を通して、生産者(原料)と販売者をつなげることが重要にな

ってきますので、常にコミュニケーションを取る事の重要さを感じています。今はまだ開発した商品は全て外部委託して作ってもらっていますが、将来的には村内で新設される加工貯蔵施設で製造していく予定です。

活動において苦労したこと

隊員として活動していくには、様々な方に関わってもらわないとできないことが多いので、調整には気を使っています。

活動においてやりがいを感じる点

開発した商品が実際に売れて、売り上げが数字に表れたり、買ってくださった方から美味しかったと言ってもらえたときがとてもうれしく、やりがいになっていきます。

「辛いで酢」の商品開発の際には、各家庭の庭先にある青唐辛子の商品を作ることと、いろんな人に身近な農産物が商品になることを実感してほしい、そして青唐辛子の出荷を通して、農家さんたちの畑仕事のモチベーションアップにつなげていただきたい、そういった気持ちを含めて商品化に取り組みました。商品が完成した時はとても感慨深かったです。

任期終了後について

加工貯蔵施設の整備がまだ終わっていないので、その事業に引き続き携わっていただろうと思っています。

また、集落支援員の方に教わりながら畑を借りていますが、まだまだ失敗だらけ。今後はそちらの管理も今以上に力を入れていければと思います。

水野さんから、隊員の皆さん・サポーターの皆さんに♪♪メッセージ♪♪

小谷村の協力隊員で記事を作成している Web ページ「本日、おたり日和。」を、ぜひご覧ください。おすすめの観光スポットやグルメ、宿泊施設など、小谷村の様々な情報を発信しています。また、「山うどの和風ピクルス」「辛いで酢」「こしょう漬け」は、道の駅小谷で購入できるほか、一部商品は北北地域のお土産屋さんなどで販売しているので、ぜひチェックしてみてください！

本日、おたり日和。

検索

URL▶<http://www.otari-biyori.com/pages/company/>



北アルプス地域で活躍している隊員 OB・OG に これまでの活動や今の生活について聞いてみました♪

隊員になったきっかけ

地方移住をしてみたいと漠然と考えていて、そんな時に、地域おこし協力隊制度があることを知って、隊員に興味を持ちました。山登りが好きということもあって、隊員として活動するなら長野県かな... と思っていましたが、北アルプス地域に来ようと思って来たわけではありませんでした。たまたま興味のある業務で隊員募集をしていたのが池田町だったので、この地域を選びました。

隊員時の業務

着任当初は、教育課生涯学習係で町のスポーツ推進を行っていました。私は池田町で初めての隊員だったので、業務内容がきつちりと決まっているわけではありませんでした。自分がやりたいと思ったことをやらせてもらえる環境だったので、とても有り難かったです。

スポーツ推進ということで活動を始めましたが、元々この地域は体育協会やスポーツ少年団があったりして、スポーツを



池田町地域おこし協力隊OB

かわた さとし
川田 諭さん

Profile

任期：平成 26 年 8 月～平成 29 年 8 月
出身地：茨城県水戸市
前居住地：東京都新宿区
前職：飲食関係勤務、イベント企画・運営
趣味：山登り

楽しめる仕組みがしつかり整っていたため、自分は何ができるか模索する毎日でした。そんな中で、運動していない人が運動できる仕組みを作れたらと考え取り組んだことが、「バランスボールリレー」です。これは、地域のの人にバランスボールを1週間日常生活の中で使ってもらい、使い終わったら知人に渡して、また次の人がやって、また次の人へ...というバランスボールを1人1週間ずつ使いながら、その様子を写真付きでSNSにアップしてもらおう企画です。運動している様子がSNSで目に見える形で発信されることで、運動意識の醸成を図ることを期待して始めました。誰に回るかわからないバランスボールですが、そこから新たな繋がりができる等、非常に面白い取組になったと感じています。あとは、地域に向いて運動指導をしたり、町のスポーツ推進員と一緒にスポーツ合コンを企画したりもしました。また、

総合型地域スポーツクラブの事務局である「大かえで倶楽部」の運営補助も行っています、それが今の仕事に繋がっています。

この他にも、地域に若者が集まる場がないということで、若者向けの生涯学習講座を企画しました。最初はお菓子を食べながら今後の地域のことを語ることから始めたんですが、そこからどんどん企画が膨らんで、今では町の体育館で若者が一緒に運動して、横の繋がりをつくる場になっています。多いときは50人以上集まります。幸い、集まった人たちが自ら企画してくれるようになったので、今もこの取組は続いています。あとはプライベートで、シェアハウスの創設・管理にも携るなど、気付いたら幅広くいろいろなことに取り組んでいました。



▲池田町総合体育館にて。北アルプス地域の若者交流拠点地になっています。

▼地域の方々にバランスボールをレクチャー。運動を身近に感じてもらうため、様々な取組を行いました。



▲バランスボールリレーでたくさん繋がりができました。

「仕事」「半分仕事」「プライベート」と異なる形で活動する中で、プライベートでやっていることが仕事に繋がったり、逆に仕事で知り合った人とプライベートでもお世話になったりということが多く、任期中の様々な活動を通して、移住者と地域の人を繋げてあげることができたことも成果の一つかなと感じています。

今の生活について

任期中に携わっていた大かえで倶楽部の団体職員をしています。団体職員として働くため、必要な資格を取得する等、任期中に準備をしてきました。町には資格取得のための費用を出していただき、とても助かりました。またおかげさまで、任期中にお仕事のお話を多くいただき、就活には困りませんでした(笑)。自分の活動を Facebook book で見た方から、ゲストハウスの運営と一緒にやりませんかという誘いをいただいたり、日ごろお世話になっていた団体から入社のお誘いをいただいたりと、今考ええる日々の活動が任期後の生活にも直結していましたね。また、若者交流事業については、今でも市民活動の一環として企画・運営に協力しています。

隊員の皆さんへ

私は将来のことを考えて活動してきたわけではないので、ダメならダメで定住できなくてもいいと思っています。それよりも、地方移住できる貴重な機会なので、自分の経験を深めたり、地域に入って自分が感じたことを、活動を通してフィードバックしたりと、思い切りこの環境を楽しんで、活動してほしいと思います。

隊員の皆さんの活動や任期後の定住を応援して下さる サポーターの方にもお話を聞いてみました♪



八十二銀行大町支店 芋川 淳一さん

芋川さんからメッセージ

この地域で活動してくださっていること、本当にありがたく思っています。弊社では皆さんの想いを少しでも後押しできるよう、あらゆる手段を使ってサポートしますので、この地域と一緒に頑張って行きましょう。ぜひお気軽にご相談ください。



長野県 PR キャラクター
「アルクマ」©長野県アルクマ

今回は、(株)八十二銀行大町支店法人課の芋川さんに、起業に向けて大切なことやどんなサポートが可能か、お話を伺いました。

起業を考えている隊員の方へ

隊員としての活動を行いながら起業に向けた準備を行うことはとても大変だと思いますが、起業に向けた準備期間が十分にあれば、貯蓄計画等を綿密に立てることができるので、少しでも早く準備していただくことが大切です。

また、起業・経営するにあたっては、どういう思いで、どのような社会的な役割を見出して、どのように付加価値を付けてお金をもらうかという“ビジネスモデルの構築”が非常に重要となりますので、任期中の3年間でビジネスモデルを深めることをお勧めします。

弊社では、お取引を通じて様々な企業・個人事業主の方の事業を支援させていただいており、隊員の皆さんが起業や経営をしていくうえで、有用な情報提供や支援が可能です。

不動産の情報等もございますので、カフェ等の開業に向けて空き家や空き店舗等を探している場合は情報提供を行うことも出来ます。

既に起業されている隊員、隊員 OB・OGの方へ

既に起業されている隊員や隊員 OB・OGの皆さんについては、人脈づくりや販路開拓という部分でサポートできるかと思えます。弊社では地元企業の情報も数多くございますので、「こういう方と繋がりたい」といったご要望等があれば、お繋ぎさせていただきます。

その他の隊員の方へ

この地域は、経営者の方々が高齢化していて、かつ後継者がいない企業がいくつかあります。ご希望があれば、そういった企業さんと繋がりをもっといただくお手伝いも可能かと思えます。

相談を希望する場合はこちらまで

お近くの支店又はお住いの地域の各支店へご連絡ください。

※小谷村は白馬支店まで

大町支店：0261-22-1382 池田支店：0261-62-3182

あづみ松川支店：0261-62-4182 白馬支店：0261-72-3982

相談窓口等のご案内

地域おこし協力隊サポートデスク ※総務省からの委託を受け移住・交流推進機構 JOIN が運営しています。

地域おこし協力隊になった方へのケアサポートを行っています。隊員として頑張っている中で、壁にぶつかったり、上手くいかなくて悩んだりした時に、周りの方に相談しにくいような場合には、一人で抱え込まず、こちらの相談窓口までお気軽にご連絡ください。専門的な相談には、隊員 OB の専門相談員が対応します。

また、地方公共団体職員からの相談も受け付けています。

隊員向け窓口：TEL 03-6225-2318 地方公共団体職員向け窓口：TEL 03-6225-2319

URL： https://www.iju-join.jp/chiikiokoshi_report_cont/supportdesk/

※メールでの相談も受け付けています。申込フォームは上記 URL からご確認できます。

長野創業サポートオフィス

起業を考えている方のご相談に応じて創業前から創業後まで一貫してサポートしています。相談無料、秘密厳守。「起業を考えているけれど何から始めていいかわからない」「国・県・市町村の創業に関する支援策を知りたい」「事業計画や資金計画をどう進めたらいいのかわからない」といった方はこちらにご相談ください。

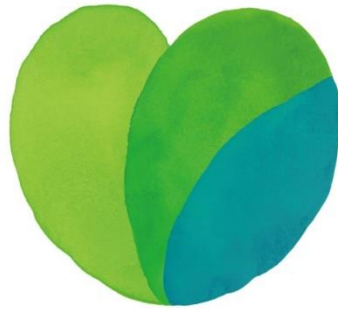
相談窓口：TEL 080-7709-4700 (担当：創業・ベンチャー推進員 岡沢 正明)

長野県地域おこし協力隊総合情報発信ページ

協力隊 OB・OG が管理者となり、県内の地域おこし協力隊関係者が活用可能な Facebook ページを運営しています。地域のイベント・特産品・観光地・協力隊員の PR などにご活用ください。

URL: <https://www.facebook.com/naganokyouryokutai>





しあわせ信州

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

Kita Alps 地域おこし協力隊通信

Vol. 1 (2018 . 10 . 16 発行)